

葛飾区SDGs宣言書

宣言日

2026年

2月

4日

事業者等としての2030年の(又は中長期的な)るべき姿

株式会社Fieldlaboは、植物事業を軸とした環境配慮型のものづくりと、地域と共生する事業活動を通じて、持続可能な社会の実現に貢献する企業を目指します。東京ナーセリーとして都市部における農場経営・植物生産・研究を行い、緑のある暮らしを身近なものとするとともに、資源循環・環境負荷低減を意識した商品・サービスの提供を進めます。地域に根ざした事業展開を行なながら、環境・社会・経済のバランスが取れた持続可能な経営を実践していきます。

事業者等としてのねらい、特徴的な活動

- ・観葉植物やビカクシダ等の生産・販売・研究
- ・東京23区内における都市型農場の運営(東京ナーセリー)
- ・オリジナル用土など、環境負荷を抑えた園芸資材の開発
- ・廃棄物削減や資源の有効活用を意識した商品設計
- ・オンライン発信およびECを活用した情報提供・販売
- ・地域イベントやワークショップへの参画による緑化普及活動

現場で培った知見と実践力を強みとし、実用性と持続可能性を両立した事業を展開しています。大人の趣味を仕事にしている会社として、楽しさと社会性を兼ね備えた事業づくりを行っています。

目指すSDGsのゴール(複数選択可)



目標に関する取組内容等

ゴール	これまでの取組内容	2028年12月31までの取組目標
3	植物を通じて、心身の健康につながる緑のある暮らしの提案を行っている。観葉植物やビカクシダの販売・情報発信を通じ、初心者でも安心して植物を楽しめる環境づくりを行っている。	植物を活用した暮らし提案コンテンツを継続的に発信し、植物関連ワークショップ等を年1回以上実施する。
8	好きなことを仕事にするという考え方のもと、植物事業を新たに立ち上げ、事業の多角化と雇用機会の創出に取り組んでいる。	植物事業部の安定運営体制を構築し、将来的な人材確保・業務委託を含めた就業機会の拡大を図る。
11	地域イベントやワークショップへの参画を通じ、緑化普及活動や地域交流に取り組んでいる。	地域団体や事業者と連携し、緑化・植物関連の地域活動への参加を年1回以上継続する。
12	オリジナル用土など、環境負荷を抑えた園芸資材の開発を進め、過剰包装を避けた商品設計を行っている。	環境配慮型資材を使用した商品比率を高め、主要商品において簡易包装を標準化する。
13	植物の生産・販売を通じ、都市部での緑の創出と環境意識向上に取り組んでいる。	都市型ナーセリーでの栽培品目数を増やし、緑化につながる植物供給体制を強化する。
15	健全な生育環境を重視した栽培方法を採用し、植物の品質向上と長期育成を促進している。	化学肥料や農薬に過度に依存しない栽培手法を継続し、持続可能な栽培管理体制を確立する。

1	事業者等の名称	株式会社 FIELD LABO	
		本社が届け出る場合は、事業所(支店・営業所等)の数	1
2	業種	13. サービス業	
3	従業員(構成員)数	1	
4	代表者 職・氏名	職名	代表取締役
		氏名	岩城 大輔
5	所在地	〒	1240013
		東京都葛飾区東立石4-11-30	
6	ホームページURL	https://fieldlabo.co.jp/	